

# 土岐・連・来

（つちき）

（あぐり）

（すなは）

あつたかいん  
だろう  
馬と人と  
支える手と手



☆表情が宝物　乗せた人の声  
☆馬に乗る前と乗った後の子供の表情が違う  
☆樂しかった。乗っている人の笑顔がとても  
よかつた。

障害を持つた人とふれあうのは、自分的心  
にも相手の心にも何かが育つと思つた。  
皆さんがうれしそうにしているのを見て、  
わたくしもうれしかつた。

大人の障害者の方があれしそうに手を振る  
のを見て、涙が出た。子供の笑顔にこちら  
が心をなごませてもらつた。  
障害のある方とのコミュニケーションが  
これでとても良かつた。

いろいろな人と馬を通じて接することがで  
きたことが良かつた。

空気感がよく、みんなか子供たちの笑顔を  
引き出そうとひとつになって活動していく  
とてもよかつた。

皮膚と肌を触れ合うことによって、より一層  
心が通じ合えると思つた。  
多くのボランティアが参加して、いろいろ  
な人との交流がもてた。

非常に良い体験をした。継続されるという  
ことで、次回も参加したい。

☆日常接することのない馬に触れられた上に  
ハンディをもつた人達の笑顔が見られて最  
高だつた。

音もつと研修を。乗つている人から目を離し  
てはいけない。その上で楽しく  
てきた

第一回体験乗馬会アンケートの声

乗った人（聞き書き）

、おもしろい。楽しい。

馬に乗ったときフワフワして樂しかった  
（も）と乗りたい、（も）気持ち

前半はいやかでいたが見ていてうちに  
乗ることを承知した。連れて来てよかったです。  
長く待つたのでいやになってしまったが乗つ  
なる乐しかつた。

（こわかった。）  
☆馬が好き！  
おなかのたけとよかーた  
おでこで乗れなかつた  
お乗れませんでした。神经質な性格のようで  
お乗じそうでした。ふだんは親にヘターとお  
しているのに乗馬を待っている間、ボラン  
ティアと交流てきてひらくおしたけと思わ  
ず笑つてしまつた。  
途中でおちやおうかと思つたけど大丈夫  
だった。  
動物とふれ合はきかないのを少しこわ  
そおでした。また次もせひ来たい。  
おもしろかった、こわくない、ありがと  
う、「一」と言つていた、バルドーと名前もお  
ほえている。自信がついていつもの表情と  
あがつてよかれた。  
まわりのもり先けて、たのむくつることか  
できた

競争250名の参加で

受け付けもてんやわんや

馬を夢寐からやつす



お馬さんは好きだけど東れなほの



受け付けもてんやわんや



真剣に



ほら、こわくないよ



馬よ、ありがとう



見て  
いる人  
も……



乗  
せ  
て  
い  
る  
人  
も  
お  
も  
わ  
ず  
に  
こ  
ニ



影  
も  
長  
く、  
人  
も  
馬  
も  
心  
地  
よい  
疲れ



## 協賛金

三十八万六百八円（十一月十六日現在）

協賛者（一九九七年九月十五日～十一月十六日まで）

牧野祐之・生沼弥寿男・町山篤・萩谷見子・高井由美子・高橋卓道・島海健一・石井信吾・（旭化成アイミー（株）アルム小田原店店長）

・小酒部俊成（（有）小酒部商店）・森進・鈴木純子・加藤久美子・佐藤浩一・志沢容二・洋子・狩野光範・内田塾・（財）エムアルエイ

ハウスマジアセンター・相川孝・間中・信也・岡部春海・後藤君代・宮内知子・二宮一夫・広瀬トシ子・国原一男・鶴井昇・石井政子

・高田喜好・（小田原保健サービス）・（株）天乃家石材店・緑農園・（株）井上・マルク本店・秋澤達雄・府川トシエ・川口ひで代・本田はま子・太田敏子・矢野順子・山田和子・小川由野・長濱好美・徳田孝行・種岡様子・杉岡由紀・佐藤親雄・真壁もと・樋口文子・長崎孝子・小林敦・長田重正・川上医院・我妻サク・府川登志美・TACO元気の会・福井百合子・山内剛・細谷洋子・鳥居富郎・赤山嘉鴻

（順不同・敬称略）

## 《コリラのつぶやき》

十一月二十六日（土）の体験乗馬会での私の仕事は、金体を把握する会場係としてただ立つてゐることでした。乗馬会も終わりに近づき、馬連車を見送るために立っていました。「何事もなく、今日はこれで無事に終わつたな。」と思つていたところでした。馬連車が動き出すると、横から美穂ちゃんが馬連車を追いかけるように車椅子を走らせて「おうまさんありがとう」と呼びました。弱々しくも澄んだ声でした。これを聞いて、一瞬時間が止まつたように感じました。その間に今日のことが思い出されました。障害を持つた子供たちの馬に乗つたうれしそうな顔、馬には乗れなかつたけれど、馬と一緒に歩いていた男の子のことを想いだしました。まさしくこの「ありがとう」という言葉がすべての出来事を強く焼き付けてくれました。

人と自然、人と人、人と馬（動物）のふれあい、そのふれあいをつかみつけてくれた。ありがとうの一言。まさに美穂ちゃんはこの一言で私達に思いを伝える言葉を教えてくれたのです。そして、私は、このふれあいを言葉に表せる場所を作ろうとしているのだし、それが私にとっての自然・馬・人の会なのだと納得しました。

また、体験乗馬会が無事終わって、今一番感

じていることは、この会の原動力になつていてるのは、まさにいろいろな人達とのふれあいだと

いふことです。自然・馬・人の会を持続しようとすると、特別なエネルギーは要りません。例えばそこに美穂ちゃんの笑顔があればいいの

です。「おうまさんありがとう」という言葉をまた聞きたいと思うからです。何かしたい気持ち

生き出すのです。そのことがとても大切なこと

です。こんなにも自然に、こんなにも気楽にやっていけると言うことがかけがえのないことに思えます。（桜井広利）

## 会員になりませんか

■ 内容

・会報送付

・乗馬会のお知らせをいたします

・その他

・料金

②年会費 千二百円（一世帯）四月切り替え

## 協賛者・協賛金のお願い

小田原で自然と人がふれあい、乗馬療法の場が実現できるよう、今後ともご協力願いたします。

一口 千円（現金書留または郵便振替）

郵便振替口座  
00270(4)79944

自然・馬・人の会

問合せ先

平250

会報 一士岐・蓮・来「第二号

発行 自然・馬・人の会

発行日 一九九七年十一月十六日

問合せ先

FAX 0465(32)1308

小田原市城山一の三の三十二  
桜井広利（代表）

時間 同じ

十時から十五時まで（十二時から十時まで昼休み）

月日 十一月三十日

場所

旧三の丸小学校跡地（体験乗馬会）

ボランティア 当日受付

騎乗料 千円